



TOKYO 2020

出国前検査の陰性証明について

2021年7月14日

組織委員会GD室、大会運営局医療サービス部

審議事項

- 2021年6月公表の「プレイブック3版 アスリート・チーム役員」にて、「日本から帰国するために必要な陰性検査証明書の取得方法に関する情報は、6月末までに提供される予定」となっており、この間、大会期間中のスクリーニング検査（調達済）の有効活用を前提とした「出国前検査、陰性証明の業務」の進め方について検討してきた。
- 今回、上記の既存検査にかかるリソースを使うめどが立ち、アスリート等に対する出国前検査及び陰性証明発行の手順が定まったことから、帰国先の入国要件によって新たに必要となる検査方式について、新たに調達を行う。

基本的な考え方

求められる入国要件 唾液/抗原定量	・既存のスクリーニング検査(唾液/抗原定量) を活用し、アスリート等向けアプリに陰性証明出力機能を付加することで対応 ⇒アスリート等全体の約6割に対応
上記以外の入国要件	・上記外の検査手法であるPCR検査（鼻咽頭及び唾液）、血清抗体IGM検査に対応するため、 <u>選手村に新たに検査・陰性証明を発行できる体制を構築</u> ⇒アスリート等全体の約2割に対応

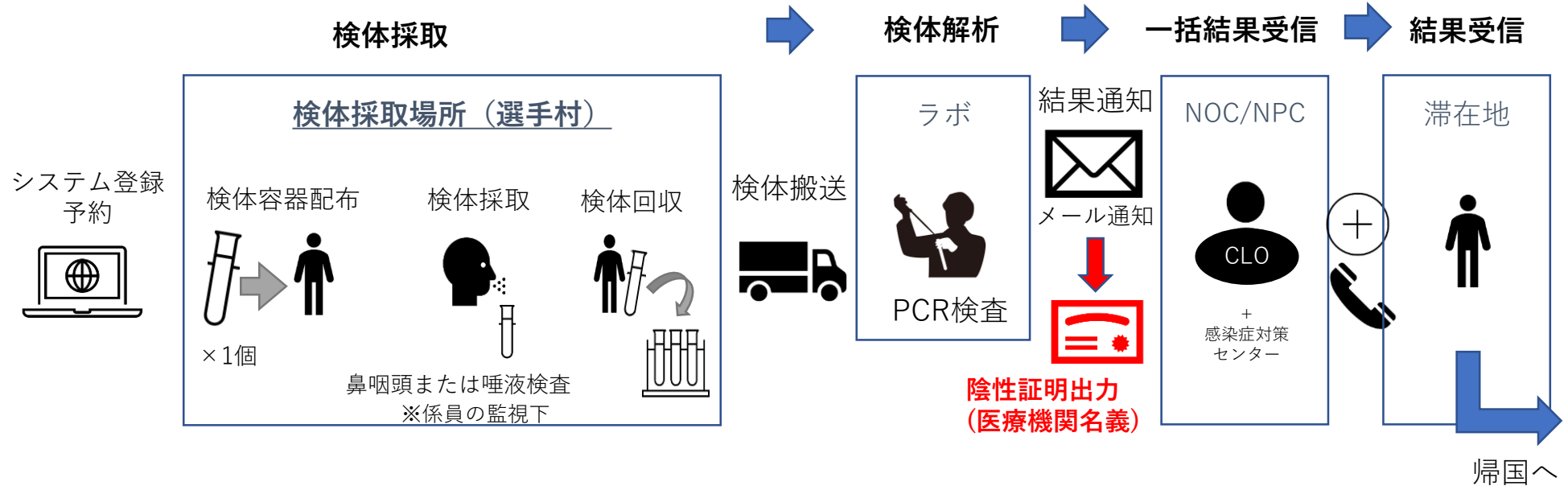
今回の
調達範囲

⇒上記に当てはまらない場合、検査及び陰性証明の発行が可能な民間検査施設のリストを提供し、各自で対応

※ 一部、出国前検査が入国要件になっていない場合も含んでいる。

具体的なオペレーション

- ・鼻咽頭、PCR検査が必要な方
- ・血清抗体IGM検査が必要な方



調達概要

対象者： 選手村にアクセスのある者（選手又は選手団メンバー）

事業概要： 上記の者の出国前検査及び陰性証明の発行
医師・看護師が選手村に入り、検査機関を設置
検査証明の発行は当該医療機関が実施
サービスの開始日は7月25日を予定

場 所： 選手村内検体採取場所

契約方式： 特別契約